

平成21年度学校腎臓病検診について

新潟市医師会学校腎臓病判定委員会 池 住 洋 平

新潟市医師会の会員の皆様ならびに学校腎臓病検診の関係の方々には大変お世話になっております。昭和48年（1973）学校保健法施行規則が改正され、尿検査が学校健康診断の必須項目になって以来、すでに35年以上が経過しております。以降、慢性糸球体腎炎から末期腎不全に至る患者数は減少したと言われております。しかしながら、実は学校検尿制度に基づく疫学的なデータは殆どなく、毎年多額を投じて行われている腎臓病検診の成果が明らかになっていないというのが本邦学校検尿の現状です。このことは、小児腎臓病学会をはじめ、腎臓疾患に携わる多くの方々から指摘され問題となっております。

学校腎臓病検診システムには、大きく分け1次検尿から3次集団精密検査を検査実施機関で行い、さらに判定委員会を通して暫定診断とそれに基づく管理指導区分を出すA方式と、2次検尿までを検査機関が行い、その結果を学校を通して家庭に通知し、結果を受けた本人および家族が医療機関を受診して精査が進められるB方式の2通りがあります。一般に、A方式の方が異常判定陽性者の追跡、管理区分の指示などがしっかりと行われ、疫学的な調査も行いやすいという長所がありますが、3次検査までを公費で実施するため、2次検査までを公費負担とするB方式に比べて多くの費用が掛かります。1次～3次検査に掛かる費用と新潟市の平均的な対象児童数から試算しますと、新潟市は毎年約2千万円以上を掛けて学校腎臓病検診を行っていることとなります。このような学校腎臓病検診をより有効に活用すべく、平成22年度からは診断名の統一など疫学データの収集を容易にする試みを始めております。平成21年度検診に

ついてはまだうまく適用されておりませんが、昨年までと若干統計データの取り方を変えて報告させていただきます。対象は新潟市立の小学校から高等学校に通う6歳～18歳の児童・生徒です。

1. 1・2次検尿結果およびメジカルセンター実施1次精密検査結果（表1-3）

平成21年度の対象者は、小学生42,901名、中学生21,962名、高校生2,096名の計66,959名で、前年度の68,077名から1,118名減少しています。昨年に引き続き受検総数は減少傾向にあります。新潟県の統計によると、2009年4月における新潟市の6-18歳の人口は97,559名で、これは前年度と同じ時期の98,892名から1,333名減少しており、就学年齢の児童の減少が受検者数に影響しているものと考えられます。1次検尿の受検率は99.2%でほぼ例年通りの安定した受検率を保っています。

1次検尿、2次検尿の異常頻度はそれぞれ総受検者の3.3%（2,160名）、0.68%（454名）であり、また、小学生では1次検尿、2次検尿の異常頻度が2.4%、0.59%であるのに対し、中学生では4.8%、0.87%と中学生の方が異常の発見頻度が高くなっています。これらの頻度や傾向もほぼ例年通りです。

1次精密検査にメジカルセンターを受診したのは335名で、そのうち異常ありと判定されたのは261名、総受検者の0.39%です（表1）。1次精検異常者のうち250名（95.8%）は特に生活制限を行わない管理区分E判定、残りの11名（4.2%）についても、ごく軽度の運動制限を行うD判定でした。尿所見の内訳は、尿沈渣赤血球5-50個／視野の軽度血尿単独例（血尿群I）と51個以上／視野の高度血尿例（血尿群

Ⅱ) を合わせ、血尿単独例が158名(60.5%)と最も多く、次いで蛋白尿単独例が67名(25.7%)であり、全国的な傾向と変わらず約2/3が血尿単独例となっています。血尿・蛋白尿両者陽性例は28名(10.7%)で、平成20年度の21名(7.2%)、平成19年度の12名(5.0%)と比較し、増加傾向がみられます(表2)。

血液検査では例年通りASO高値例が最も多く、53例でしたが急性糸球体腎炎の活動期にみられる補体値の異常(低下)が認められた例はありませんでした(表3)。

2. 医療機関実施の検診結果(表4、5)

要1次精密検査者454名中、メジカルセンターを受診せず、他の医療機関で精密検査を受けた111名に、学校側精検希望者65名を加えた176名のうち、尿所見の異常がみられたのは150名、85.2%で、多くは以前から医療機関で治療または経過観察を行われている例と考えられます。管理区分はメジカルセンター受検例と同様に140名(93.3%)がE判定、7名(4.7%)がD判定でしたが、運動が禁止されるB判定が2名含まれており、腎不全例が含まれていることが伺えます。

診断名ですが、冒頭に記載しましたが、今年度分から徐々に病名の整理を試みております。表5(1)は従来の病名区分による診断ですが、この中には血尿群Ⅰ、Ⅱや無症候性血尿など暫定診断名と確定診断名が混在し、統計上の把握が難しいというご意見がありました。そこで、この度、表5(2)のように、暫定診断名と確定診断名を区別する試みをしております。依然として、血尿と無症候性血尿などが混在しており今後さらに病名整理を進めていく必要があると考えられますが、この分類によりますと、要管理150例のうち診断未確定の暫定診断例が85名(56.7%)みられ、このうち血尿群56名、無症候性血尿24名、確定診断名の家族性良性血尿例が14名で計94名、62.7%と血尿単独例が最も多くみられます。ここで「家族性良性血尿」は、組織所見上、菲薄基底膜症候群を呈するものと考えられますが、多くは腎生検なしに家族歴などから診断されたものと推測されます。私どもは、家族歴から家族性良性血尿と診断されてい

た中に、後にアルポート症候群であることが明らかになった女児例を経験しており、家族性良性血尿の診断は慎重に行うべきと考えております。

また、確定診断名の中には、依然として「急性腎炎」や「慢性腎炎」といった病名が含まれており、今後さらにこれらの病名を整理していく必要があると考えられます。

3. 2次精検受診者追跡調査結果(表6~9)

1次精密検査にて要2次精査となった261名のうち、医療機関を受診したのは222名(85.1%)であり、このうち122名(55.0%)が要管理となっておりますが、管理指導区分は1名のC判定を除く121名がE判定で、運動制限を要さない例が大部分を占めています(表6)。

現況をみますと、平成21年度は「来院しなくなった」例が3名ありましたが、要管理例については市内の医療機関で比較的しっかりと管理されていると考えられます。「転医」については、転居などに伴う新潟市・県外への移動に伴うものが多いと考えられますが、詳細は明らかではありません(表7)。

追跡調査を行った222名の診断名を表8に示しました。医療機関実施の検診結果(表5)と同様に若干の整理を試みておりますが、100名は管理不要となっており、要管理例122名のうち診断未確定例が105例(86.1%)を占めており、その多くは血尿単独例(91名、86.7%)となっています。表5と比較しますと、21年度から開始した病名整理の試みの効果もあって比較的見やすい表となっておりますが、血尿群Ⅰ・Ⅱと無症候性血尿、蛋白尿と無症候性蛋白尿などいくつか重複する診断名が見られており、さらに病名整理を進めていく必要があると考えられます。

表9に平成21年度の追跡調査表の回収時点までに実施された腎エコー、腎生検、腎盂造影検査の結果の内訳を示します。超音波検査51件のうち50件(98.0%)は所見なし、腎下垂を指摘された例が1件確認されています。腎生検および腎盂造影については、この時点で実施報告はありませんでした。

4. メジカルセンターおよび医療機関実施結果の合計 (表10、11)

精密検査をメジカルセンター以外の医療機関で行った176名(表5)とメジカルセンターで要2次精密検査と判定され医療機関を受診した222名(表8)の計398名の集計結果を表10に示しました。診断未確定例が198名(49.7%)おり、血尿単独群、無症候性血尿に家族性良性血尿を合わせた血尿単独例が計202名(50.8%)と最も多く、次いで無症候性蛋白尿に体位性蛋白尿例を加えた蛋白尿単独例が66名(16.6%)で、このうち体位性蛋白尿は51例(77.3%)となっております。すなわち、学校検尿で発見される蛋白尿単独例の約7割は生理的な蛋白尿である体位性蛋白尿と考えられ、これは以前から指摘されている全国的なデータと同様です。一方で、診断未確定の蛋白尿単独例や血尿・蛋白尿両者陽性例が合わせて21名(5.3%)みられており、進行性慢性腎疾患の可能性も考えて慎重に経過をみていく必要があると考えられます。

この度の病名整理で、若干表が見やすくなったかと思いますが、確定診断の中に含まれている「慢性腎炎」や「急性腎炎」などの曖昧な診断名や、「逆流性腎症」と「膀胱尿管逆流」、「尿管狭窄」と「水腎症」などの病名については、定義を明確にする必要があると考えられます。また、「ネフローゼ症候群」については、微少変化型ネフローゼとして管理中の寛解児が学校側の要請で受検、診断名を付けられている場合もあり、今後疫学調査を進める上で、やはり病名の記載法を検討する必要があると考えられます。

全体398名のうち272名、68.3%が要管理と判定されておりますが、管理指導区分は261名、96.0%がE判定で、7名がD、CとB判定がそれぞれ2名ずつとなっております。高度の運動制限が必要な重症例は少ないようです。運動制限の適応については、新潟市内で改めて見解を一致させておくことが重要かと思われま(表11)。

5. 保育園の検尿成績 (表12)

平成21年度新潟市内の保育園4、5歳児の検尿結果を表12に示しました。対象は4歳児3,960名、5歳児4,119名の計8,079名で、こちらも昨

年の8,187名と比較し若干減少しております。1次検尿の陽性者は167名(2.1%)で、このうち163名が2次検査を受検し、43名が所見ありと判定されています。尿潜血陽性が36名、尿蛋白陽性が1名、尿糖陽性が1名の他、血尿・蛋白尿両者陽性例が5名みられています。医療機関受診後の内訳をみますと、学童と同様に血尿単独例が27名(62.8%)と最も多くなっております。ただし、ここでも病名の重複や、「腎臓炎」「慢性腎炎」などの曖昧な診断名が見られており、病名付けの基準を設ける必要があると考えられます。

6. 今後の展望

いくつかの項で述べてきましたが、今年度の新潟市の学校検尿の試みとして病名整理を試みており、その一環として平成22年度の報告書には予め診断名を整理した病名表(表14)を付けております。今回報告させて頂きました平成21年度の調査票にはまだこの表を添付しておらず、これに準じて少しずつ病名整理を試みていますが、以前から治療・経過観察中の患児の診断名が残っていることから、まだまだ病名の重複や曖昧な診断名が見られております。平成22年度の報告書の病名整理に反映されることを期待しております。さらに、今後は、以前からの懸案となっております、年度毎の診断名別新規発見数(発症率)を把握する試みも進めていきたいと考えています。

他の未解決課題として、体位性蛋白尿例の中に「要管理」と「管理不要」となっている例があるなど、管理指導法についても統一した判定基準、管理法を検討する必要があるかと思えます。特に、昨今話題となっております慢性腎疾患(CKD)の管理について、小児腎疾患管理に於ける運動制限の是非が問われています。一般に、運動制限は不要とする意見が強く、今後新潟市内についても、診断、管理法の見解を一致させておくことが重要と考えられます。本稿をご一読頂いて居ります先生方には、またご相談、ご協力頂くことも多々あるかと思いますが、何卒宜しくお願い致します。多くの先生方からご意見など頂ければ幸いです。

平成21年度 学校腎臓病検診結果

○メジカルセンター実施 (表1～3)

表1 受検数及び異常数 (22.10.8)

	1 検 対象数	1次検尿		2次検尿		1次精検受診数 (メジカルセンター)			1次精検結果								
		受検数 (A)	異常数 (C)	受検数 (D)	異常数 (E)	2検 異常数 (F)	学校 希望数 (G)	計 (H)	異常あり								管理 不要 (K)
									総数		管理指導区分						
									数(I)	腎尿路疾 患既往の ある者 (再掲)(J)	A	B	C	D	E		
小学校	男	21,987	21,947	304	293	60	36	1	37	31 (1)	10 (1)				1	30 (1)	6
	女	20,914	20,878	732	711	194	135	2	137	118 (2)	37 (1)				2	116 (2)	19
	計	42,901	42,825	1,036	1,004	254	171	3	174	149 (3)	47 (2)				3	146 (3)	25
中学校	男	11,357	11,258	398	379	85	65		65	48	11				3	45	17
	女	10,605	10,503	645	615	105	86	1	87	57 (1)	12 (1)				5	52 (1)	30
	計	21,962	21,761	1,043	994	190	151	1	152	105 (1)	23 (1)				8	97 (1)	47
高校	男	1,011	906	33	30	6	5		5	5	3					5	
	女	1,085	941	48	44	4	4		4	2	1					2	2
	計	2,096	1,847	81	74	10	9		9	7	4					7	2
合計		66,959	66,433	2,160	2,072	454	331	4	335	261 (4)	74 (3)				11	250 (4)	74
%			B/A 99.2	C/B 3.3	D/B 3.1	E/D 21.9	F/E 72.9		H/B 0.5	I/H 77.9							K/H 22.1

() 学校希望

表2 1次精検の尿所見 (実人数)

	小学校		中学校		高校		計
	男	女	男	女	男	女	
蛋白質尿	2	20	18	23 (1)	2	2	67 (1)
血尿群 1	25 (1)	83 (1)	22	22	2		154 (2)
血尿群 2	1	1	1	1			4
蛋白尿・血尿	3	11	6	8			28
尿路感染症		3 (1)	1	3			7 (1)
総蛋白減少					1		1
計	31 (1)	118 (2)	48	57 (1)	5	2	261 (4)

() 学校希望

表3 1次精検の血液検査（延べ人数）

	小学校		中学校		高校		計
	男	女	男	女	男	女	
A S O 上昇	10 (1)	21	12	10			53 (1)
総コレステロール増加	1		1	1			3
総蛋白減少			1		1		2
αグロブリン増加		1					1
γグロブリン減少			1	1			2
計	11 (1)	22	15	12	1	0	61 (1)

() 学校希望

○ 医療機関実施（表4、5）

表4 受診数及び異常数

		メジカルセンター 1次精検未受診数			受診数			2次精検結果							管理 不要 総数 (K)
		2検 異常者	学校 希望者	計	2検 異常者	学校 希望者	計	異常あり							
								総数		管理指導区分					
								数(I)	腎尿路疾患既往のある者 (再掲)(J)	A	B	C	D	E	
小学校	男	24	25	49	22	26	48	42 (23)	16 (12)		2 (1)		4 (2)	36 (20)	6 (3)
	女	59	12	71	56	13	69	61 (13)	10 (2)				61 (13)	8	
	計	83	37	120	78	39	117	103 (36)	26 (14)		2 (1)		4 (2)	97 (33)	14 (3)
中学校	男	20	11	31	16	11	27	25 (11)	6 (2)					25 (11)	2
	女	19	12	31	16	13	29	20 (9)	6 (4)				3 (2)	17 (7)	9 (4)
	計	39	23	62	32	24	56	45 (20)	12 (6)				3 (2)	42 (18)	11 (4)
高校	男	1	1	2	1	1	2	1				1			1 (1)
	女	0	1	1		1	1	1 (1)						1 (1)	
	計	1	2	3	1	2	3	2 (1)				1		1 (1)	1 (1)
合計	123	62	185	111	65	176	150 (57)	38 (20)		2 (1)	1	7 (4)	140 (52)	26 (8)	

※ () : 学校希望者の再掲

○医療機関実施

表5 (1) 病 名

病 名	要 管 理							管 理 不 要						合計	
	小学校		中学校		高 校		計	小学校		中学校		高 校			計
	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女		
蛋 白 尿		1					1								1
蛋 白 尿・血 尿		1	1	1			3		1					1	4
血 尿 群 1	14	24	7	7			52	1				1		2	54
血 尿 群 2	1	1	1	1			4								4
A S O 上 昇		1					1								1
体 位 性 蛋 白 尿		5		1			6		1	1				2	8
無 症 候 性 蛋 白 尿	1						1								1
急 性 腎 炎	3						3								3
慢 性 腎 炎			1				1								1
メサンギウム増殖性糸球体腎炎			2				2								2
I g A 腎 症	1		3	1		1	6								6
無 症 候 性 血 尿	2	12	5	5			24				1			1	25
ネフローゼ症候群	6						6								6
単状分節状糸球体硬化症		1					1								1
特発性尿細管性蛋白尿症	1		3				4								4
家族性良性血尿	3	8	2	1			14								14
紫 斑 病 性 腎 炎	2	2					4								4
腎 不 全		1					1								1
アルポート症候群					1		1								1
水 腎 症	1	1					2								2
逆 流 性 腎 症				1			1								1
膀 胱 尿 管 逆 流	2	1					3								3
尿 路 感 染 症				1			1								1
尿 路 結 石				1			1								1
尿 管 狭 窄	3						3								3
紫 斑 病		1					1								1
ネイル・パテラ症候群	1	1					2								2
そ の 他	1						1								1
異 常 な し							0	5	6	1	8			20	20
合 計	42	61	25	20	1	1	150	6	8	2	9	1	0	26	176

○医療機関実施

表5 (2) 精検結果

病名	要 管 理							管 理 不 要							合計
	小学校		中学校		高 校		計	小学校		中学校		高 校		計	
	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女		
暫定診断名															
血 尿 群 1	14	24	7	7			52	1				1		2	54
血 尿 群 2	1	1	1	1			4								4
無 症 候 性 血 尿	2	12	5	5			24			1				1	25
蛋 白 尿		1					1								1
無 症 候 性 蛋 白 尿	1						1								1
蛋 白 尿 ・ 血 尿		1	1	1			3		1					1	4
計	18	39	14	14	0	0	85	1	1	0	1	1	0	4	89
生理的蛋白尿															
体 位 性 蛋 白 尿	0	5	0	1	0	0	6	0	1	1	0	0	0	2	8
慢性糸球体疾患（原発性、二次性、遺伝性を含む）															
家 族 性 良 性 血 尿	3	8	2	1			14								14
慢 性 腎 炎			1				1								1
メサンギウム増殖性糸球体腎炎			2				2								2
I g A 腎 症	1		3	1		1	6								6
紫 斑 病 性 腎 炎	2	2					4								4
ア ル ポ ー ト 症 候 群					1		1								1
ネ フ ロ ー ゼ 症 候 群	6						6								6
単 状 分 節 状 糸 球 体 硬 化 症		1					1								1
ネ イ ル ・ バ テ ラ 症 候 群	1	1					2								2
計	13	12	8	2	1	1	37	0	0	0	0	0	0	0	37
尿細管・間質障害															
特 発 性 尿 細 管 性 蛋 白 尿 症	1	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
腎・尿路奇形に起因する疾患・慢性腎不全を呈するもの															
腎 不 全		1					1								1
水 腎 症	1	1					2								2
逆 流 性 腎 症				1			1								1
膀 胱 尿 管 逆 流	2	1					3								3
尿 管 狭 窄	3						3								3
計	6	3	0	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
その他															
急 性 腎 炎	3						3								3
尿 路 感 染 症				1			1								1
尿 路 結 石				1			1								1
紫 斑 病		1					1								1
A S O 上 昇		1					1								1
そ の 他	1						1								1
計	4	2	0	2	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8
異常なし	0	0	0	0	0	0	0	5	6	1	8	0	0	20	20
合 計	42	61	25	20	1	1	150	6	8	2	9	1	0	26	176

○2次精密検査受診者 追跡調査（表6～9）（メジカルセンター受診後の状況）

表6 受診状況と管理指導区分

	2次精密検査		要 管 理							管理不要
	対象数	受診数	総数	管理指導区分						
				A	B	C	D	E		
小学校	男	31	27	21					21	6
	女	118	108	65			1		64	43
	計	149	135	86	0	0	1	0	85	49
中学校	男	48	35	9					9	26
	女	57	47	25					25	22
	計	105	82	34	0	0	0	0	34	48
高校	男	5	3	2					2	1
	女	2	2							2
	計	7	5	2	0	0	0	0	2	3
合計	261	222	122	0	0	1	0	121	100	

222/261 85.1% 精検未受診39名

表7 現 況

	要治療・経過観察				管理不要			
	している	来院しなくなった	転医	計	受診不要	治癒した	計	
小学校	男	17	1	3	21	6		6
	女	56	2	7	65	43		43
	計	73	3	10	86	49	0	49
中学校	男	7		2	9	26		26
	女	22		3	25	22		22
	計	29	0	5	34	48	0	48
高校	男	2			2	1		1
	女					2		2
	計	2	0	0	2	3	0	3
合計	104	3	15	122	100	0	100	

○メジカルセンター実施の追跡

表8 病 名

病 名	要 管 理							管 理 不 要							合計
	小学校		中学校		高 校		計	小学校		中学校		高 校		計	
	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女		
暫定診断名															
血 尿 群 1	17	45	5	10			77			1				1	78
血 尿 群 2	1	2		2			5								5
無 症 候 性 血 尿		6	2	1			9		2					2	11
蛋 白 尿	1	3		3	2		9		1					1	10
無 症 候 性 蛋 白 尿		1	1	1			3								3
蛋 白 尿 ・ 血 尿				2			2								2
計	19	57	8	19	2	0	105	0	3	1	0	0	0	4	109
生理的蛋白尿															
体 位 性 蛋 白 尿		1	1	2	0	0	4	1	12	11	15	0	0	39	43
慢性糸球体疾患（原発性、二次性、遺伝性を含む）															
家 族 性 良 性 血 尿	2	3		4			9		1	1				2	11
慢 性 腎 炎		1					1								1
I g A 腎 症		1					1								1
計	2	5	0	4	0	0	11	0	1	1	0	0	0	2	13
その他															
高カルシウム尿症		1					1								1
尿 路 感 染 症		1					1		1					1	2
計	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	3
異常なし	0	0	0	0	0	0	0	5	26	13	7	1	2	54	54
合 計	21	65	9	25	2	0	122	6	43	26	22	1	2	100	222

表9 腎エコー・腎生検・腎盂造影実施

検査	腎エコー		腎生検		腎盂造影	
異常なし		50				
腎下垂		1				
計		51		0		0

○メジカルセンター実施と医療機関実施の合計（表10、11）

表10 病 名

病 名	要 管 理							管 理 不 要							合計
	小学校		中学校		高 校		計	小学校		中学校		高 校		計	
	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女		
暫定診断名															
血 尿 群 1	31	69	12	17			129	1		1		1		3	132
血 尿 群 2	2	3	1	3			9							0	9
無 症 候 性 血 尿	2	18	7	6			33		2		1			3	36
蛋 白 尿	1	4		3	2		10		1					1	11
無 症 候 性 蛋 白 尿	1	1	1	1			4							0	4
蛋 白 尿 ・ 血 尿		1	1	3			5		1					1	6
計	37	96	22	33	2	0	190	1	4	1	1	1	0	8	198
生理的蛋白尿															
体 位 性 蛋 白 尿	0	6	1	3	0	0	10	1	13	12	15	0	0	41	51
慢性糸球体疾患（原発性、二次性、遺伝性を含む）															
家 族 性 良 性 血 尿	5	11	2	5			23		1	1				2	25
慢 性 腎 炎		1	1				2							0	2
I g A 腎 症	1	1	3	1		1	7							0	7
紫 斑 病 性 腎 炎	2	2					4							0	4
紫 斑 病		1					1							0	1
メサンギウム増殖性糸球体腎炎			2				2							0	2
ネフローゼ症候群	6						6							0	6
単状分節状糸球体硬化症		1					1							0	1
アルポート症候群					1		1							0	1
ネイル・パテラ症候群	1	1					2							0	2
計	15	18	8	6	1	1	49	0	1	1	0	0	0	2	51
尿管・間質障害															
特発性尿管性蛋白尿症	1	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
腎・尿路奇形に起因する疾患・慢性腎不全を呈するもの															
腎 不 全		1					1							0	1
水 腎 症	1	1					2							0	2
尿 管 狭 窄	3						3							0	3
逆 流 性 腎 症				1			1							0	1
膀胱尿管逆流	2	1					3							0	3
尿路感染症		1		1			2		1					1	3
計	6	4	0	2	0	0	12	0	1	0	0	0	0	1	13
その他															
急 性 腎 炎	3						3							0	3
高カルシウム尿症		1					1							0	1
尿 路 結 石				1			1							0	1
薬 物 性 腎 障 害	1						1							0	1
A S O 上 昇		1					1							0	1
計	4	2	0	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
異常なし	0	0	0	0	0	0	0	10	32	14	15	1	2	74	74
合 計	63	126	34	45	3	1	272	12	51	28	31	2	2	126	398

表11 管理指導区分

		要 管 理					計	管理 不要	合計
		A	B	C	D	E			
小学校	男		2		4	57	63	12	75
	女			1		125	126	51	177
	計		2	1	4	182	189	63	252
中学校	男					34	34	28	62
	女				3	42	45	31	76
	計				3	76	79	59	138
高 校	男			1		2	3	2	5
	女					1	1	2	3
	計			1		3	4	4	8
合 計			2	2	7	261	272	126	398

○保育園の検尿成績（表12、13）

表12 検尿成績

区分	一次受 検数	一次陽性者数（内訳）														計
		蛋 白				潜 血			糖	蛋白 (±)	蛋白 (±)	蛋白 (1+)	蛋白 (1+)	蛋白 (1+)	蛋白 (±)	
		±	1+	2+	3+	1+	2+	3+	1+	潜血 (1+)	潜血 (2+)	潜血 (1+)	潜血 (2+)	潜血 (3+)	糖 (1+)	
4歳児	3,960	4	2	1	0	59	11	4	1	1	0	0	1	1	0	85
5歳児	4,119	5	5	1	1	50	11	4	1	0	1	1	0	1	1	82
計	8,079	19				139			2	1	1	1	1	2	1	167
	100%	0.24%				1.72%			0.02%	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%	0.02%	0.01%	2.07%

二次検査			二次検査結果（内訳）										以前 から 治療中	未実施
対象数	受検数	所見 なし	所見あり											
			蛋白		潜血		糖	蛋白 (±)	蛋白 (1+)	蛋白 (2+)	蛋白 (2+)	計		
			±	1+	2+	1+	1+	潜血 (3+)	潜血 (3+)	潜血 (1+)	潜血 (3+)			
85	83	64	0	13	2	0	1	1	1	1	1	19	3	2
82	80	56	1	18	3	1	1	0	0	0	0	24	2	2
167	163	120	1	31	5	1	2	1	1	1	1	43	5	4
2.07%	2.02%	1.49%	0.01%	0.38%	0.06%	0.01%	0.02%	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%	0.53%	0.06%	0.05%

表13 「二次検査結果所見あり」で医療機関受診後の内訳

区分	蛋白（1人）	潜 血（36人）	糖（1人）	蛋白・潜血（5人）
4歳児		血尿 1 微少血尿 5 無症候性血尿 2 膀胱炎 1 腎臓炎 1 異常なし 4		ネフローゼ症候群 1 慢性腎炎 1 無症候性血尿 1 不明 1
5歳児	無症候性血尿 1	血尿 2 微少血尿 8 無症候性血尿 5 家族性血尿 1 異常なし 5 診断名未記入 1	異常なし 1	血尿 1

表14 腎臓病検診調査票 診断名表

*下記の診断名を参考に、表面に番号の記入をお願いします。

該当する診断名がない場合は、その他（ ）欄に診断名をご記入下さい。

A. 暫定診断名（Bの確定診断に至らず、経過観察中のもの）

無症候性蛋白尿	1
無症候性血尿 血尿群1	2
無症候性血尿 血尿群2	3
血尿・蛋白尿（診断未確定）	4
その他（症状記載）	5

B. 確定診断があるものは記入不

B. 確定診断名（腎生検組織診断・画像診断などにより診断が確定しているもの）

生理的蛋白尿	体位性蛋白尿	（前弯負荷試験実施、早朝尿蛋白陰性の確認）	1
無症候性血尿を呈するもの	家族性良性血尿	（家族歴、腎生検診断のないもの）	2
	非薄基底膜症候群	（腎生検診断）	3
	ナットクラッカー現象	（画像診断）	4
	高カルシウム尿症	（尿中 Ca 高値）	5
	腎・尿路結石	（画像診断）	6
	その他（ ）		7
急性・慢性糸球体疾患（原発性・二次性・遺伝性を含む）	急性糸球体腎炎	溶連菌感染既往歴、ASO 上昇、補体低下、高血圧など臨床症状・経過	8
	IgA 腎症	（腎生検診断）	9
	紫斑病性腎炎	（腎生検診断，または臨床症状・経過）	10
	非 IgA メサングウム増殖性糸球体腎炎	（腎生検診断）	11
	膜性増殖性糸球体腎炎	（腎生検診断）	12
	膜性腎症	（腎生検診断）	13
	微小変異型（ネフローゼ・蛋白尿）	（腎生検により診断されたもの）	14
	ネフローゼ症候群	ステロイド感受性ネフローゼで診療中、腎生検診断のないもの	15
	巣状糸球体硬化症	（腎生検診断）	16
	アルポート症候群	（腎生検診断、または家族歴）	17
	ループス腎炎	（腎生検診断、臨床症状、血液検査所見）	18
その他（ ）		19	

尿細管・間質障害	間質性腎炎	(腎生検診断)	20
	特発性尿細管性蛋白尿	(尿中 β 2MG 高値など)	21
	その他 ()		22
腎・尿路奇形に起因する疾患・慢性腎不全を呈するもの	水腎(水尿管)症・尿路狭窄	(画像診断)	23
	膀胱尿管逆流症・逆流性腎症	(画像診断、膀胱造影、慢性腎機能障害)	24
	尿路感染症	(逆流症なし、または膀胱造影未実施)	25
	低異形成腎	(画像、腎生検診断、慢性腎機能障害)	26
	多嚢胞腎	(画像、腎生検診断、慢性腎機能障害)	27
	ネフロン瘦	(画像診断)	28
	原疾患不明の慢性腎不全		29
	その他 ()		30
その他(診断名記載)		(ネイル・バテラ症候群、Lowe 症候群など まれな疾患)	31